

イクボス・女性活躍推進事業【坂井市】

地域の実情と課題

女性の就業率・正規雇用割合が高い反面管理職比率は低く、男性中心の労働環境が根強く残り、家庭においても男性の家事・育児参画時間が短い。また、土地利用の34%が田畑であるなど農業が盛んであり、農業に従事する女性も多い。

製造業中心の産業構造による長時間労働や離職率の高さなどが課題となる中、イクボス推進が必要不可欠である。農業に関しては女性が男性を陰で支えるケースが多く、農業従事者の47%を占める女性にスポットライトが当たる機会が少ない。

事業の特徴

本市を含むイクボス推進企業のネットワークを設立し、官民一体となって事業を実施することで相乗効果を図る。また、多様な業種業態にアプローチするアドバイザー派遣、経営者向け情報交換会などの開催を実施し、多角的な事業実施を図る。これにより成功事例からロールモデルを生み出し、今後の継続的な実施と浸透にも繋げていく。

農業に関しては女性農業者のネットワークを形成し、市が展開する地場産品PR事業等との連携を積極的に行うことで、女性農業者からのフィードバックを施策に活かしていく。

事業の効果

ネットワークに複数年参加している企業では、イクボス推進への意識が相乗的に高まり、より実効的な変化に繋がっている。イクボス宣言企業も増加し、市内の女性活躍推進意識が着実に高まっている。また、学び女史プログラムでは修了生を含めたネットワークが構築され、管理職への登用意識など職場での活躍機運が高まっている。

農業女史プログラムでは、視察や研修を通してメンバー間の交流が深まり、積極的な意見交換が行われている。

目的・目標

本市の実情と課題を踏まえ、企業間ネットワークでの定期的な研修等を通してイクボスを普及推進し、イクボス宣言企業や県の女性活躍推進企業の増加を目指す。また、農業においても女性農業者のネットワーク形成を促し、新規就農者の拡大や所得向上を図る。

■市内のイクボス宣言企業 目標50社（R1末で62社…達成）

■市内の女性活躍推進企業 目標25社（R1末で26社…達成）

※R2までの目標値

連携団体

坂井市イクボス共同宣言企業 62社

坂井市イクボス推進企業ネットワーク 参加企業14社

今後の課題

■イクボス推進・働き方改革の効果を企業が実感できるような、企業のニーズに即した事業展開

■休職中・就業を望む女性など、企業対象セミナーだけでは届かない層へのアプローチ

■農業女史の農産物について、価格以外の部分で競っていくためのブランディング・加工品開発

事業の概要

イクボス推進企業ネットワーク

5月 事業開始

市内企業に勤務する管理職前の中堅職員（プレ・イクボス）を募り、講義やグループワークなどを通してイクボスに必要なスキルや社内での浸透手法などを学び、必要な支援施策を考えるネットワークを設立（14事業所・22人が参加）

7月11日（木） 第1回ネットワーク会議

※以降、月1回のペースで開催（全4回）



5月17日（金）

イクボス情報交換会

市内企業の経営者・上級管理職向けの講演・グループワークを実施。イクボスを推進する上で経営者に必要なマインドセットなどを学んだ。



先進企業視察（11月）

- ・甲賀協同ガス株式会社（滋賀県甲賀市）
- ・京都サンダー株式会社（京都府京都市）



イクボス推進セミナー・成果報告会（1月）

ネットワークでの成果報告および基調講演を実施し、18事業所から約70人が参加した。併せて第4回のイクボス共同宣言式を実施し、7事業所が新たに宣言企業となった。



イクボス推進企業アドバイザー・講師派遣

多様な業種業態の企業において個別の疑問や課題にアプローチできるよう、専門のアドバイザーや講師を派遣（8事業所・団体が利用）



業種や対象者に
応じて、様々な
内容の派遣を実
施した。



▲報告書の作成・
配布（新規啓発）

事業の概要

学び女史プログラム

7月 事業開始

市内企業に勤める女性リーダー候補を対象に研修（全5回）を開催し、自分らしい生き方を考え、仕事も家庭も大事にできる心構えやテクニック、また女性リーダーに期待される役割や能力を学び、ワンランク上の『女史』を目指す女性を育成。

7月10日（水） 第1講
「なぜかうまくいく人のライフデザインと人生テーマ」

8月 7日（水） 第2講
「ここがポイント！ 男性脳と女性脳の違い」

9月18日（水） 合同研修会
第1期、第2期の修了生を交えた合同研修会を実施。トークショーでは県内で活躍する女性リーダーを招いた。
また、修了生との交流会も実施し、「学び女史」の繋がりを深めた。

10月 9日（水） 第3講
「一緒に仕事がしたいといわれる人になる」

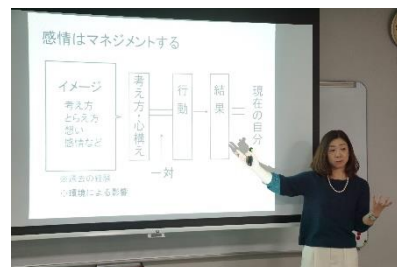
11月13日（水） 修了式
講義を振り返り、受講者それぞれがこれから仕事とどう向き合い、どんな人生を送っていくのか、決意表明を行った。



修了生と受講生23名が参加してのグループディスカッションを実施。これからの仕事や生活に前向きになれる活力を分かち合った。

2月28日（金） 女性対象・内面から美人になれるセミナー

市内在住・在勤の女性を対象としたセミナーを開催し、16名が参加。第1部として、仕事もプライベートも前向きに過ごすための「感情」との付き合い方、第2部では冷えやむくみを改善するカイロプラクティックの講座を開催した。



▲報告書の作成・配布（新規啓発）

農業女史プログラム

4月 事業開始

現に農業に従事する女性や農業に興味のある女性、加工品を取り扱う女性などを対象とした研修や会合を行うことでネットワークを形成し、参加者同士によるグループ活動の活性・拡大化、情報発信の強化を図り、農業において女性が活躍するための環境づくりを推進。

6月19日(水) ゆりマルinゆりフェスタ
(マルシェ出店)

7月 7日(日) 霞の郷温泉リニューアルイベント
(マルシェ出店)

8月24日(土)、25日(日)
とごしぎんざまつり(アンテナショップ出品)

9月29日(日) 秋感! ゆりの里
(マルシェ出店)

1月20日(月) ベジお茶会ミーティング
(活動紹介・市事業PR)

農業女史プログラムの事業概要に加え、ふるさと納税やアンテナショップ等の関連事業についての紹介を行い、市内の女性農業者や農業に興味のある女性に向けた情報発信を行った。



2月12日(水)、2月13日(木)
さかいの農業女史プログラム東京視察研修

品川区戸越銀座商店街にある坂井市アンテナショップの視察・実地販売を行った。また、農林水産省では「農業女子プロジェクト」についての説明を受け、全国の女性農業者の取り組みを学んだ。



農業女史メンバーは増加。それぞれの生産物から新たな加工品の可能性も生まれている。